

令和4年 **5**月の**思いやり**通信



排ガス・下水からエコ燃料 日立造船や大ガスが実用化

脱炭素化、電力に続き

*水素や二酸化炭素（CO₂）などを反応させ、都市ガスをつくるエコ燃料製造技術「メタネーション」の実用化が進んできました。

*日立造船は排ガスを使い、大阪ガスは下水から都市ガスをつくります。

*コストが課題ですが、技術革新で天然ガス並みに下がる可能性も。

*水素に比べ 既存設備を転用できる利点も。

※メタネーション：工場から回収したCO₂と再生可能エネルギー由来の電力でつくる水素を合成し、都市ガスの主成分となるメタンを製造する仕組み。

コスト減で9割置き換え 2050年、LNG価格と同等

*メタネーションは、反応の過程で熱損失が発生するのが特徴。

・エネルギー変換効率は6割程度。

・メタンの製造価格は天然ガス由来に比べ7倍。

・「グリーン成長戦略」では、2050年時点でLNG価格と同水準にすることを目指しています。

（2022年4月15日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）



太陽光発電の設置拡大 山林から平地に誘導

乱開発是正、政府が検討会

*政府は太陽光発電のさらなる導入拡大を狙い、省庁横断の検討会を近く立ち上げ。

*山林を切り開く乱開発を是正し、平地や建物の屋根に誘導します。

*固定価格買い取り制度（FIT）の開始以降、山林を切り開く太陽光発電の開発や豪雨などによる崩落事故などが発生しています。

（2022年4月20日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）